小学校

川崎市立東小倉小学校

国語科を中心に、授業改善に取り組む川崎市立東小倉小学校(坂本正治校長、児童482人)。"ワールドカフェ"方式と呼ばれる交流活動を取り入れるなど、「魅力ある単元づくり」が特色の一つになっている。重点に置くのは、子どもたちが授業を通して協働的な学びの「楽しさ」を実感すること。「暗記型」から「思考型」へ。こうした学びの成果を見取るために、ノートを効果的に活用している。坂本校長は「教師一人一人の授業力向上にもつながっている」と話す。

交流活動「ワールドカフェ」方式取り入れ

協働的な学びの「楽しさ」を実感

紙一枚で議論深める

教科等横断的な視点も

「おみつさんと大工さんはなぜ結婚したの?」―。中央に書かれているのはクラス全体で決めた学習課題。子どもたちは紙一枚で議論を進めていく。6年国語科の授業。使用した教材は「海の命」（光村図書）だ。

教科書に書かれた叙述を手掛かりに、気軽に対話できる「ワールドカフェ」方式で読みを深めていく子どもたち。登場人物の生き方などに対し、自分の考えを持たせることがねらいの一つだ。高学年の「読む領域」では、学習展開の工夫として「ワールドカフェ」方式を取り入れている。

目の前の子どもたちの実態に合わせた単元づくりが、同校の特色の一つ。「主体的・対話的で深い学び」を目指し、学びの必然性を持たせる上で教科等横断的な視点も取り入れている。昨年、現在の2年生から入学前に手紙をもらった1年生たち。今度は自分たちの番を迎えた。生活科の学習で書き留めた材料を選び、新入生の喜ぶ顔を思い浮かべながら手紙を書く学習に取り組んでいる。

さらに、低・中・高学年ごとに育成すべき資質・能力も整理。単元づくりでは「めざす児童像」から重点に置きたい力を一つ選び、それを意識することで「なぜこの教材なのか」という根拠を持つことができているという。授業展開に関する評価は、設定した抽出児（3人程度）から見取る。特定の子どもたちの姿を詳しく見取ることで授業改善につなげたい考えだ。

紙一枚を使い、決められた学習課題について話し合う子どもたち

思考力・表現力の育成を重視する上で、「国語科は業者テストの実施をやめた」と語る坂本校長。児童のノートへの支援、話し合い活動の観察など、教師が学びの過程を大事に評価するようになってきたという。

東小倉小☎044・511・5201

「アイテム」を取り入れたことで、自主的に学ぶ姿勢が身に付いたという

算数教材「アイテム」を活用

学習意欲が高まる

児童のニーズに合わせた構成

福岡市立鳥飼小学校

NPO法人次世代教育推進機構と筑波大学附属小学校・算数研究部が協働して開発した小学校向けの算数教材「アイテム」。福岡市立鳥飼小学校（立光浩美校長、児童757人）では、その教材を全学年で導入し、4年目を迎えた。「教えられたことを覚える」のが学習と思っていた子どもたちが、全ての問題を解くこと」を想定して作られていない点に加え、「『基本』が必要な子どもには基礎問題を、『活用・発展』が必要な子どもには探究問題を」という子どものニーズに合わせた構成にも大きな魅力を感じたという。

休み時間や家でも

同校に着任が決まり、当時の主幹教諭に「次世代教育推進機構のネット上に詳しいことが書かれているので、それを参考に『アイテム』をうまく使いこなしてほしい」と相談した立光校長。一人一冊の「アイテム」を持たせ、「アイテム」の特徴を保護者に説明した。

「前の計算ドリルは文章題が少なく、どんどん苦手になりました。『アイテム』は、説明のところをきちんと読めば分かるし、休み時間や家でやっていても楽しいです」

同校の児童は、そう笑顔で話す。計算部分は宿題、難しい問題は発展補充の時間に扱うなど、「アイテム」の活用の仕方は学級担任に任せているところが大きい。しかし、「考えることが楽しい」と思う子どもが確実に増えている。立光校長が「元の計算ドリルに戻そうか?」と尋ねると、多くの子どもたちが「計算だけは嫌!」と答える。

また、スポーツに熱心に取り組む子どもから「『アイテム』があれば『解ける力』が付くし、自分一人で勉強することができる」などの頼もしい声も。「教えられたことを覚える学習」から「主体的な学び」へ。「アイテム」は子どもたちにとって欠かせない一冊になっている。

こうした成果などを聞きつけ、市内にある別の小学校でも「アイテム」の活用が広がりつつあるという。

鳥飼小☎092・831・4238

教科化目前! English 小学校英語で求められること

▽45△

授業力向上へ研修積み重ね

東京・荒川区立尾久第六小学校 (下)

同校では、「CAN―DOリストの作成」「年間指導計画の作成・見直し」「教材や言語環境の整備」などに取り組み、低・中・高学年ごとに育てたい力を明確にした英語教育を推進している。学級担任による授業づくりを軸に、授業改善に力を入れて取り組んでいる。

小学校現場には、英語を得意とする教員が多くいるとは限らない。それは、同校でも例外ではない。そのため、まずは教師一人一人が授業することに慣れ、子どもが楽しく活動できるような授業づくりを目指してきた。

授業力向上に向け、積み重ねたのが校内研修。英語が得意な教員が教師役となる「ミニ授業」を行い、指導する上でのポイントを学びながら自らの授業改善に生かしている。放課後は、自主的に授業改善について話し合う教員の姿もあり、教師一人一人が自らの英語力向上に努めた形だ。

教師一人一人が自信を持ち、テンポ良く指導できる力が向上した

45分の通常授業は区の指導指針に沿った学習の流れを踏む。例えば、高学年は導入で文字や歌、チャンツなどを扱う。それから本時の授業に入り、アクティビティーや振り返りなどを行っている。複数のクラスで、同時に使えるように教材も整備した。こうした授業の流れを踏まえ、年間を通して実践したことで授業スタイルが構築されつつあるという。

相手の話をしっかりと聞き、答えようとしている子どもたちの姿もとても印象的。聞くことができなければ受け答えができず、しっかりとしたコミュニケーションが成り立たないからである。前年度までは「学び合い」を軸に、国語科を中心にして友達の話や意見を聞いて自分の考えを磨く研究にも取り組んでいた。そのため、研究主任の向和歌子主任教諭は、「そこで培った力が英語にも生きているのではないか」と話す。

これまでの成果の一つは、"Classroom English"をうまく使いこなし、自信を持ってテンポ良く指導できる力が付いたこと」と語る向研究主任。来年度に向け、石塚吉之校長は「短時間学習を含めた区の新しい年間指導計画を受け、これまでの取り組みをうまく関連付けていければ」と話している。

（終わり）

情報掲示板

【公開授業・研究会】

▶日本国語教育学会千葉県支部・国語教育研究会（3月3日午後0時30分）▷千葉大学教育学部二号館（千葉市）▷研究発表「俳句創作入門期の年間カリキュラムに関する研究」（関智哲氏・習志野市立鷺沼小学校）、「読書を基に実生活に生きる『読む能力』を育む文学の学習指導」（関昌一氏・袖ケ浦市立根形小学校）他、講話「新学習指導要領と国語科の授業」（中村和弘氏・東京学芸大学）▷参加費 2000円▷FAX043・290・2536▷電子メール＝terai@faculty.chiba-u.jp（千葉大学教育学部国語科教育研究室内・寺井）

▶文科省「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」成果報告会（3月5日午後1時）▷文科省東館3階第1講堂（東京都千代田区）▷企画評価委員長報告、実証地域成果報告、ポスターセッション、企画評価委員講評、パネル討論▷2月27日申し込み締め切り▷http://www.uchida.co.jp/seminar/180305/index.php

▶一般財団法人住総研・第5回「住まい・まち学習」教育実践研修会（3月21日午後1時）▷東海大学高輪キャンパス（東京都港区）▷主題「住まい・まち学習のカリキュラム実践・デザイン力を磨く」▷講演（講師＝小澤紀美子・東京学芸大学名誉教授、勝田映子・帝京大学准教授、楚良浄・世田谷区立玉川小学校指導教諭）、住まい・まち学習授業

実践校による発表、体験ワークショップ▷対象：小・中・高校の教員、関心のある方▷参加費 無料▷要事前申し込み▷FAX03・3275・3079▷http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html

【募　集】

▶ブリティッシュ・カウンシル「英語教育ニュースレター新規登録キャンペーン」（3月15日締め切り）▷対象：小・中・高校英語教員▷購読無料▷授業で使えるオーセンティックな無料教材やオンライン講座、ワークショップ情報等紹介▷新規登録した方に抽選でオリジナルトートバッグをプレゼント▷https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/updates/newsletter

▶「第14回『科学の泉―子ども夢教室』」（4月13日締め切り）▷開催期間 8月4～9日▷新潟県十日町市▷対象：小学5年～中学2年生まで（8月時点）▷特長：①豊かな自然にじっくりと浸り、感性を磨いて、好奇心を育む②異学年で構成されたグループメンバーによる力を合わせた取り組み、自立的生活の実践他▷応募：①申込書②推薦書③課題作文④自己紹介を郵送▷参加費 2万円▷☎03・3442・1005▷（公財）ソニー教育財団

【プレゼント】

▶絶景と神話の地を特別車両で遊ぶ旅「ASOBO JAPAN#8LEGEND TRAINツアー 1泊2日の冒険旅行にご家族をご招待（5組20人予定）」（3月2日締め切り）▷日程：3月24・25日▷宮崎県高千穂町▷〔24日〕熊本空港日産レンタカー前集合、「あまてらす鉄道」に乗って高千穂の絶景を眺望／運転体験、ASOBO JAPAN貸し切り！特別神楽を体験、星空の下の車両乗車体験、〔25日〕高千穂峡を巡る「体験型パズル」に挑戦▷参加費 無料（開催地までの移動交通費、宿泊費）▷https://tabi-labo.com/286169/legend-train

---

学校応援プロジェクト 「教育支援活動特別便」 日本教育新聞社が推薦！ 企業団体の教育支援活動

「海洋・地球・生命」に関する最先端の情報を提供 小学校向け『海と地球のかべ新聞』

対象 小学校

海洋研究開発機構（JAMSTEC）

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は"海洋・地球・生命の統合的理解"に挑んでいる研究機関です。小学生を対象として発行している『海と地球のかべ新聞』の最新号では、海底鉱物資源と微生物の関係に関する最先端の研究などを紹介しています。是非校内に掲示してご活用ください。

JAMSTECでは、施設見学や公開セミナー、船舶の一般公開などを行っているほか、講義・講演などへの講師派遣の依頼もお受けしています。詳しくはJAMSTECのホームページをご覧ください。

また、「しんかい6500」や「ハイパードルフィン」などの有人潜水調査船や無人探査機での調査で得た膨大な数の深海映像や画像をインターネット上で公開しています。映像の総時間は約35,000時間、画像の総枚数は約140万枚に上ります。これらは学校現場で自由に無償でご利用いただけますので、教科指導に限らず、自由研究の題材などでもご活用ください。

■JAMSTECホームページ：http://www.jamstec.go.jp

リサイクルを通して次代育成に取り組む！ 学生が立ち上げた企業が提供する学校向けプログラム

対象 小学校・中学校・高等学校

e.Cycle（イーサイクル）

千葉大学の学生による株式会社e.Cycle（イーサイクル）が提供する「Renac（リナック）」は、新聞や雑誌、ミックスペーパーなどを回収、提携する工場でリサイクルし、封筒やメモ帳などの紙製品として回収元に還元する事業です。

先月始まった企業向けサービスですが、これと併行して、関東圏の小学校・中学校・高等学校とコラボレーションした以下の取り組みを始める予定です。

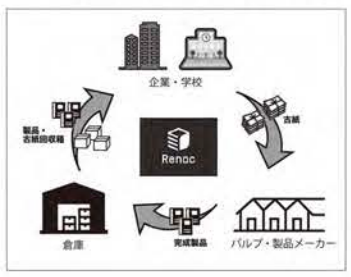
① 学校への「Renac」の2か月間の無償導入 ※開始時期は任意

② リサイクルを行う工場への学校団体見学の受け入れ

③ NPO法人「森を守る紙の会」との連携による紙漉き体験の出前授業

リサイクル体験を通じた子どもたちへの環境教育のほか、同社は学生が経営を行っていることから、キャリア教育という側面からも活用が期待されています。

■メールでの問い合わせ：support@renac.jp



2018年7月18日（水）～20日（金） 第2回「教育施設リニューアル展」ビッグサイトで開催

対象 小学校・中学校・高等学校

日本能率協会

児童・生徒の生活の場でもある学校施設。多様な学習活動に対応した機能的な施設整備が求められています。そうした中、一般社団法人日本能率協会は、第2回「教育施設リニューアル展」を開催。今年のテーマは、複合化や効果的・効率的な施設整備・敷地有効活用など新たな教育施設としての地域空間の創造です。具体的には、長寿命化改修、老朽化対策、複合化向け技術・製品、備品・設備、防犯・防災・セキュリティ、地域コミュニティ活性化ツールなどに関する製品やサービスなどが展示されます。整備を担当されている教育委員会の方や、学校長、副校長・教頭などの管理職の方も学校整備の情報源としてご覧になってはいかがでしょうか？

■名 称：第2回「教育施設リニューアル展」
■会 期：2018年7月18日（水）～20日（金）の3日間 10：00～17：00
■会 場：東京ビッグサイト 東ホール（東京国際展示場）
■展示予定規模：50社/80ブース
■入 場：無料 ※招待状、HP事前登録用紙持参者

～学校施設の長寿命化と地域づくりの推進に向けて～
第2回 教育施設リニューアル展

【出展企業も募集中】お問い合わせ＝文教と公共の施設フェア事務局 TEL 03-3434-1988

個人情報ってなに？ 『子どものための個人情報保護法ハンドブック』

対象 小学校

個人情報保護委員会

個人情報保護委員会は、個人情報保護行政の全般を担う国の行政機関です。このほど、個人情報について最低限知ってもらいたいことを、小学生にも容易に理解していただけるようにハンドブックを作成しました。漢字にはすべてルビが振ってあり、子どもたちに分かりやすい文体としています。

そもそも個人情報ってなんだろう?という問いから始まり、続いて、個人情報の取扱ルールについて、分かりやすく説明し、最後に、子どもたちにも気をつけてほしいことを具体的に紹介しています。また、質問等に対応する個人情報保護法相談ダイヤルも紹介しています。

【個人情報保護法相談ダイヤル】 TEL 03-6457-9849
※受付時間 9:30～17:30 [土日祝日及び年末年始を除く]